

研究対象者等に通知し、又は公開すべき事項（情報公開用）

申請番号：

試料・情報の利用目的及び利用方法（他の機関へ提供される場合はその方法を含む。）

・研究課題名： 子宮体癌に対する最適な小線源治療方法に関する研究

・目的： 子宮体癌に対する根治的治療の第一選択は手術であり、根治的放射線治療の適応は高齢、合併症等で手術不能である場合や切除不能な進行癌に限られる。近年、子宮体癌の腔内照射においても 3 次元画像誘導小線源治療(3D-IGBT)の開発が進められている。しかし、ターゲットの体積に対して放射線治療の線量処方をした治療成績の報告は少ない。また根治的放射線治療は、一般的には外部照射と腔内照射の併用で行われるが、患者の状態や社会的状況から外照射単独、あるいは腔内照射単独で治療を行う場合がある。当院での治療成績について後方視的に解析し、治療成績、有害事象について検討を行う。

。

・研究期間： IRB承認後～ 2025/12/31

・研究対象： 2010/4/1～2022/12/31

利用し、又は提供する試料・情報の項目

： 全生存割合、局所制御割合、骨盤内制御割合、無再発生存割合、無遠隔再生存割合、直腸晩期有害事象、膀胱晩期有害事象、DVHパラメータ、線量評価法の検討。その他カルテより放射線治療開始時年齢、PS、FIGO病期、UICC病期(TNM)、病理組織型、治療前のMRI画像で測定した腫瘍径、合併症の有無、化学内分泌療法の有無、放射線治療の線量分割などについて抽出する。

利用する者の範囲

： 埼玉医科大学国際医療センター放射線腫瘍科

試料・情報の管理について責任を有する者の氏名又は名称

： 埼玉医科大学国際医療センター放射線腫瘍科 青鹿友美